

令和6年度 学校評価自己評価表〔年度末〕

三次市立川西小学校

教育目標	塩町中学校区	『確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して、自らを伸ばそうとする子供の育成』	ミッション	確かな学力を身に付け、ふるさと川西を愛し、地域創生に参画していく生きる力を備えた人づくりを行い、地域の活性化に貢献する学校をめざす。
	川西小学校	『自ら学び、友と関わり、未来を拓く』 ～ふるさと川西を愛し ともに きたえ みがき のびる～	めざす子ども像	○ともにきたえ合う子 ○ともにみがき合う子 ○ともに伸び合う子

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組み・方策	評価指標・目標値	担当	評価		目標達成状況	次年度への改善策
						中間	最終		
確かな学力の定着	■主体的・対話的で深い学びにより学力の向上を図る。	□基礎基本の定着	○「川西モデル」算数科授業の実践 ○漢字の読み・書きや計算等の定着に ICT 機器と帯タイムを活用	○市販テストの「漢字の読み・書き(学期末のまとめテストの知識・理解)や計算(学期末のまとめテストの知識・技能)」の正答率 80%以上の児童の割合 85%以上	教務部	4	4	○漢字の読み書きの達成者数 25 人 計算の達成者数 25 人 のべ合計50名の達成数。全 52 名 96.2%の達成。(達成度 113.2)	○漢字や計算テストを定期的に行った結果、達成者が、軒並み増えた。基礎学力の定着を図るためにも、補充学習や再テストを実施し、漢字力や読字力、計算力の一層の習得を図る。
		□自分で考え、友と関わり合いながら学ぶ力の向上	○「考え議論する」道徳科授業づくりの研究 ○川西学びの系統性を基にした「聞き方」「話し方」「話し合い方」の指導	○教師アンケート(4段階評価)の「発問の絞り込み」「振り返りの場面設定」の項目の平均値 3.0 以上 ○教師アンケート(4段階評価)の「聞く力」「話す力」「話し合う力」の項目の平均値 3.1 以上		3	4	①「発問の絞り込み」 3.25 ②「振り返りの場面設定」 3.5 ①②の平均 3.38(達成度 112.5) ③「聞く力」の総数 11.25 「話す力」の総数 12.18 「話し合う力」の総数 10.75 総数の平均 11.39 ③の平均 2.85(達成度 91.9) ※①～③の達成度の平均 102.2	①は、教材分析シートを活用し、児童の実態に合わせて研究を重ねる。 ②は、場面設定を確実にし、「めあて」に対する自分の学びを「振り返り」に書かせる。 ③は、授業者が道徳科と算数科を中心に意識しながら取り組みを進めてきた。今後も、継続して取り組みを進める。
		□多様な表現形式を用い、自分の考えを表現する力の向上	○多様な作品コンクール等への応募	○習字、俳句、短歌、作文、写生画等の作品を積極的に応募(1人年7本以上)し、かつ、新聞掲載や表彰された児童の割合 84%以上(中間は作品応募数のみで評価し、1年生を除いて1人3本以上。)		4	4	○全学年共、年間7本以上応募した児童の割合100% (達成度 119.0)	○表現力及び自己肯定感を高める一つとして、年7本以上の積極的な応募に、次年度も同値として取り組みを継続する。
豊かな心の育成	■他者に感謝し、思いやりの心をもって行動する力を育てる。	□相互に認め合える学校・学級づくり	○児童一人一人がお互いのよさを認め合える活動の推進 ・学級…友達の良い所を見つける活動 ・職員…出来たこと、がんばったことなどを褒め、認める。 できなかったことは励ます。	○自己肯定感に係る4項目の肯定的評価 85%以上(6月、10月、2月に調査) ・自分のよさの自覚 ・得意なことがある ・努力して嬉しい ・認められている	生活保健部	4	4	○「自分のよさの自覚」 84.6% 「得意なことがある」 96.2% 「努力して嬉しい」 92.3% 「認められている」 84.6% 平均 89.4% (達成度 105.2)	○道徳の時間や学級活動、朝の会、帰りの会などの機会を通じて、お互いのよさを認め合える活動を仕組んでいく。 ○児童ががんばろうという気持ちを持てるよう、褒める、認める、励ます声掛けを継続していく。
		□相手や場に応じた挨拶や返事をする習慣の確立	○「レベル3」の挨拶と気持ちのよい返事の指導と肯定的評価の声かけ	○生活アンケートで「レベル3以上の気持ちのよい挨拶をしている」の肯定的評価 85%以上		2	3	○「レベル3以上」と評価した児童の割合 73.1% (達成度 86.0)	○児童会による定期的な「朝の挨拶運動」を継続して行う。
たくましい体の育成	■健康に関心をもち、元気でたくましい心と体を作り、体力の向上を図る。	□基本的な生活習慣の確立	○日常的な家庭との連携 ○設定した生活習慣確立週間の前後や機をとらえた学級指導、朝会での全校指導	○生活習慣アンケートで「翌日学校がある日の早寝」の達成率 80%以上	生活保健部	4	4	○「翌日学校がある日の早寝」達成率 84.0% (達成度 105.0)	○睡眠について一斉指導を行った。家庭の都合や習い事、テレビ視聴等で就寝時刻が遅くなっていた。生活習慣アンケートを継続して行い、家庭との連携を図っていく。
		□体力・耐力の向上	○体育で取り組む。 ○朝の会で基礎体力運動の実施	○新体力テストの立ち幅跳びにおいて、全国平均を上回る児童 75%以上(昨年度 73.9%) (5月、9月、12月に調査)		1	4	○「立ち幅跳び」で、全国平均を上回った児童 80.8% (達成度 107.7)	○体育の授業で取り組む。 ○朝の会で毎日、基礎体力運動を継続する。
信頼され、地域とともにある学校	■地域と学校の相互の連携と協働に努め、「信頼される学校」「地域とともにある学校」づくりを推進する。	□保護者満足度の高い学校づくり	○迅速で丁寧な組織対応 ○HP や学校だより等で積極的な情報発信	○保護者アンケート「情報発信」「家庭との連絡・連携」の項目の肯定的評価 85%以上	全職員	4	4	○保護者アンケート「情報発信」の評価 100%、「家庭との連絡・連携」の評価 100% (達成度 125.0)	○次年度もテトル等を活用し、迅速で丁寧な組織対応、積極的な情報発信を行っていく。
		□地域や保小中高と連携・協働した教育活動の推進	○中学校区内各校種との連携教育の推進 ○地域の「ひと・もの・こと」に学ぶ教育活動の実施 ○地域や小中連携によるコミュニティ・スクールの導入準備	○保小中高合同活動の実施(年3回以上) ○地域に学ぶ教育活動の実施(全学級) ○コミュニティ・スクール準備会を学区で設置し、導入に向けた組織的な協議を重ねる。 (年3回以上)		3	4	○「合同運動会」(地域保小)、「プログラミング教室2回」(小高)、「保育所訪問」(保小)、小6交流会(小小) ○「防災宿泊体験活動」(高学年)、「水辺の教室」「アスパラガス学習」「小規模多機能施設訪問」(中学年)地域探検(低学年) ○コミュニティ・スクール準備会(4回開催)	○中学校区内各校種との連携教育の改善・推進を図る。 ○地域に学ぶ教育活動を、来年度も生活科や総合の年間指導計画に位置付ける。 ○コミュニティ・スクールを核に、地域とビジョンを共有し、共に教育活動を推進する。
【評価】		4 : 100 ≦ (目標達成)	3 : 80 ≦ (目標を概ね達成) < 100	2 : 60 ≦ (目標をやや下回る) < 80	1 : (目標を大幅に下回る) < 60	達成度 = 達成値 / 目標値 × 100			